

平成 26 年度 第 3 回理事会議事録

- ◇ 期 日 平成 27 年 4 月 26 日（日） 11:00～12:00
- ◇ 場 所 (株)開発工営社会議室
- ◇ 出席数 理事 25 名の内、出席 21 名、欠席 4 名
- ◇ 議 題

(1) 平成 26 年度事業報告について

- ・ 庶務担当理事から、前回の理事会以後に活動報告の変更がないとの報告があり確認された。

(2) 平成 26 年度決算報告について

- ・ 会計担当理事から、前回の理事会以後の動きを加え確定した決算の報告があった。平成 26 年度は、単年度収支が 69 万円となる予算を組んだが、高校・大学・社会人の登録人数が 45 名減となり個人会費が減少したこと、招待試合で 123 万円の赤字を出したこと、国体のジャージで 22 万円の出費などで、単年度収支決算は 82 万円の赤字になったことが報告された。
- ・ 会計監事から、会計監査報告があり会計処理が適性に行われていることが報告され、理事会として平成 26 年度の収支決算を評議員会に議案として提出することが承認された。

(3) 平成 27 年度事業予算について

- ・ 会計担当理事より、平成 27 年度事業予算案について資料に基づき説明があった。
- ・ 単年度収支を 54 万円とする予算を組んだ。
- ・ 早慶戦は、収支ゼロとして計上した。
- ・ 東日本都道府県対抗大会、全校ジュニア大会など未定となっている大会などの経費を保留としたものもある。
- ・ 高校ラグビー北海道予選会決勝戦テレビ放映の経費についても保留とした。
- ・ 今年度の収支は、赤字とはしたくない。このためにも早慶戦において理事のチケット販売などの協力をしてほしい。

(4) 平成 27 年度事業計画について

- ・ 庶務担当理事から、各委員会の事業計画、事業計画日程について各委員会と最終確認が行われ、一部変更があったものを修正して、議案として評議員会に提出することが承認された。
- ・ 月寒ラグビー場の使用制限について説明があった。グラウンドの芝は老化現象が現れており、8 月の高気温による芝枯れに対する保護と維持補修が必要なため 8 月中は使用禁止とすることが確認された。
- ・ 競技委員長より、野幌グラウンドの管理状況について報告があった。グラウンドの状況が悪く 5 月中のメンテナンスが必要であるが管理者が代わり打合せができない状況であることが報告された。
- ・ トップリーグ 2015-2016 については 9 月 13 日（日）にパナソニック対トヨタ自動車戦が月寒ラグビー場で開催することが報告された。

(5) 役員改選について

- ・ 庶務担当理事から、平成 27 年度の改選となる理事長指名理事の改選について確認があった。
- ・ 理事長の改選は来年度であることから、今年度の任期中に懸案となっている理事選出方法について検討を行うものとし、今期の理事長指名理事は全員が重任することになり評議員会へ提出することが承認された。
- ・ 評議員については任期の途中であるが、札幌支部で藤野義治氏から山本清和氏に交代があり、釧路支部で 1 名空席となっていた評議員に宮田光男氏が就任したことが報告された。

(6) その他

<春の招待試合早慶戦について>

- ・ 有料試合事務局理事より、現在までの準備状況について報告があった。オープニングイベント及びメインゲームについては、ホームページに掲載されている通りであり詳しいことについては詰めている最中であるが、札幌市がラグビーワールドカップ 2019 認知向上イベント「夢プロジェクト」を会場で開催することとなったことが報告された。
- ・ 会計担当理事より、去年は赤字となったが、今年は満席になるようにチケットの販売促進や協賛企業確保などを行っており、理事やチームにおいてもチケットの販売促進の要請があった。
- ・ 札幌支部理事より、札幌支部ではチーム割り当て分チケットの返却はしないことを決めたことが報告された。

<ラグビーフェスティバルについて>

- ・ 事務局理事より、現在までの準備状況について報告があった。
- ・ 午前中のとよひらラグビー体験会を含めたミニラグビーについて普及育成委員会からの企画書に基づき説明があった。

<担架の装備について>

- ・ 旭川支部理事より、担架を北海道協会で斡旋してほしいとの要請があった。旭川で行われた試合では担架を消防署から借りて装備したが、地方では同じような状況にあることが考えられる。
- ・ 北海道協会で揃えて大会ごとに送ることをしてほしいとの意見があったが、担架は練習中の怪我などにも対応するためにグラウンドに常備して置くべきものであるとの意見もあった。
- ・ 全道の実態を調べて整理してから対応を決めることが確認された。

<高校ラグビー北海道予選会決勝戦のテレビ放映について>

- ・ 高校委員長より、テレビ放映実現のための資金集めとして数社の企業に協賛のお願いをしていることが報告された。
- ・ 放送資金集めとしては、企業協賛とともにスポンサー、高校負担、支部負担、クラブ・社会人・大学チーム負担などに依頼することを考えている。
- ・ 今年度は 1 年生のラグビー部入部が減少していることが紹介された他、チームへ

の協力依頼は各支部を通じて行うこと、RWC2019を見据えた場合の5年間の費用対効果に対する理解を得ることが必要などの意見があった。

- ・ 今後はテレビ放映実現のために、各チームなどにも協力金を出してもらおうシステムを構築して、幅広く資金を集めていくことが確認された。

<ゴールデンオールディーズ委員の支部からの登録について>

- ・ ゴールデンオールディーズ委員長より、各支部で2名、最低でも1名の登録の要請があった。
- ・ 現在はゴールデンオールディーズ委員は、札幌開催での有料試合における観客管理などの運営を行っており、これを各支部での登録者を増やすことにより各支部での大会運営などの活動に結び付けること、登録することで年間スケジュールが送られてきて大会などが把握できることによりラグビーファミリーの底辺拡大を図られることを目的としている。

以上